

常任委員会所管事務調査

総務

総務常任委員会（中野貴徳委員長、委員6人）は、6月17日、本市の観光資源の現状と今後の活用について所管事務調査を行いました。

村上知幸観光交流課長のほか、市観光物産協会の栗久保博夫事務局長と多勢太一事務局員から、観光資源としての日本遺産・みちのくGOLD浪漫、みちのく潮風トレイル、三陸ジオパークなどに関する活動の説明を受けました。

同協会は、地域と連携した活動や小学生によるトレイルマップの作成などに取り組んでいます。

委員からは、コロナ禍でも楽しめるコンテンツとしての有効性や告知PRには検討の余地があること、来訪者の知識量次第で楽しめる深さにばらつきが生じる可能性があることが課題といった意見が出されました。

本委員会では、これまでの調査と合わせ、アフターコロナを見据えた交流人口拡大につながる取り組みを市民とともに盛り上げ、市内各地の観光資源を本市の活性化に生かせるよう、調査研究を重ねていくことを確認しました。（中野貴徳委員長）

教育民生

教育民生常任委員会（及川修一委員長、委員6人）の所管事務調査は、6月17日に市役所で行いました。小中学校に配置されている特別支援教育支援員の現

状について、市教育委員会学校教育課の関戸文則課長から説明を受けました。

同支援員制度は、小中学校で特別な教育的支援が必要な児童生徒を支援し、その児童生徒の健全な成長を図るものです。本市は令和元年度から（株）共立メンテナンスに業務委託しています。本年度は市内9校に19人の支援員が配置されています。

業務内容は、学習や日常生活の支援、教室移動時の支援、登下校時の見守りのほか、学校休業中の個別学習や活動支援など、多岐にわたります。

対象の児童生徒が増加傾向にある中、きめ細かな支援を行うことで児童生徒の学校や家庭生活の安定、学力、コミュニケーション力、自己有用・肯定感の向上が図られ、保護者の安心感や学校教育に対する信頼感の醸成にもつながっています。

今後も、児童生徒への対応の多様化が予想される中で、同支援員は教職員との間で共通理解を深め、児童生徒個々の発達段階の違いに応じて支援する必要があることを認識しました。（松田修一委員）

産業建設

産業建設常任委員会（鶴浦昌也委員長、委員6人）は6月17日、本市の地域ブランド米「たかたのゆめ」について、今後の更なる普及に向けた課題を探索する所管事務調査を行いました。

最初に、「たかたのゆめ」ブランド化研究会の佐

藤信一会長と市農林課の大和田智広課長補佐とともに道の駅・高田松原内にある「たかたのこはん」で、たかたのゆめを使ったメニューを味わい、風味溢れるブランド米を楽しみました。

その後、作付けされている気仙町内の水田に行き、20センチほどに成長した苗の状況を見学。佐藤会長は「植えたばかりだが、順調に生育している」と笑みを浮かべていました。

続く市役所で行った懇談では、佐藤会長と大和田補佐が「現在、市内の44農家が58ヘクタールに作付けし、270トンほどの収穫となっている」と説明。「将来的には70ヘクタールで300トンの収穫が目標」と話しました。

最近ではコロナの影響もあって全国的に米の消費が低迷していることから、今後は市内でも消費が伸びるよう、飲食店などで精米したてのたかたのゆめが食べられるような施策の展開も必要と感じました。（鶴浦昌也委員長）



たかたのゆめが作付けされた水田を調査

全員協議会

令和4年4月以降に開催した全員協議会の当局案件をお知らせします。

4月20日

○陸前高田市まちづくり総合計画に係る実施計画について
▼平成31年3月に策定した陸前高田市まちづくり総合計画基本構想に掲げる、まちの将来像の実現及び基本目標の達成に向け、市として取り組むべき具体的な事業を取りまとめ、実施計画として策定したものの。

・計画期間 令和4年度から令和6年度まで（3年間）

○「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく津波浸水想定について

▼県は、L2津波（最大クラスの津波）に対して避難を軸とした総合的防災対策を構築する際の基礎となる津波浸水想定を独自に設定し、本年3月に公表した。県が公表した本市における津波浸水想定は、東北地方太平洋沖地震を

モデルとして選定し、浸水シミュレーションが行われたもの。今後は、県による本津波浸水想定との住民説明会開催後に、県が本年8月公表を予定している被害想定に基づき、ハザードマップを作成するとともに、避難対策等の再検討を行い、地域防災計画の見直しを行う。

○いわて消防通信指令事務協議会の設置について

5月23日

○子育て世帯生活支援特別給付金の支給について
▼子育て世帯に対し、児童一人当たり一律5万円を特別給付金として支給。

6月21日

○路線バス・生出線の運行事業者等の変更について
▼路線バス・生出線（矢作町「的場」～米崎町「イオンスーパーセンター陸前高田」）について、運行事業者を変更し、併せて、運賃及びダイヤの見直しを行うもの。

・変更日 7月1日から
（担当・佐々木一義）

議員表彰

全国市議会議長会第98回定期総会が5月25日に東京都で開かれ、長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、本議会から6人の議員が永年表彰され、6月定例会で表彰状が伝達されました。

議員15年以上

- 大坪 涼子 議員
- 菅野 広紀 議員
- 議員10年以上
- 大坂 俊 議員
- 佐々木 一義 議員
- 鶴浦 昌也 議員
- 伊勢 純 議員

（担当・蒲生 哲）



令和3年度政務活動費執行状況

本市議会の議員は1人につき月額 12,500 円の政務活動費の交付を受けることができます。（会派に属する議員は会派に、会派に属さない議員は議員に交付）

会派等	人数(人)	交付額(円)	執行額(円)	返還額(円)
日本共産党	3	450,000	142,571	307,429
新 志 会	2	300,000	16,211	283,789
創 生 会	3	450,000	347,797	102,203
碧 い 風	4	600,000	626,712	0
翔 成	5	750,000	655,715	94,285
及川修一	-	150,000	150,175	0

※交付額より執行額が上回る会派等については、自己資金にて対応しています。

議長交際費の公表

令和3年度分（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の議長交際費の支出状況をお知らせします。議長交際費は議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

支出区分	件数(件)	金額(円)	主な内容
お祝い	1	3,000	岩銀高田会令和4年度総会お祝い
会 費	1	2,000	[母子像]復元事業記念祝賀会及び実行委員会解散式の会費
慶 弔	5	60,000	元市議会議員等の逝去に際し香典等
その他	2	12,811	行政視察の際の土産等
合 計	9	77,811	